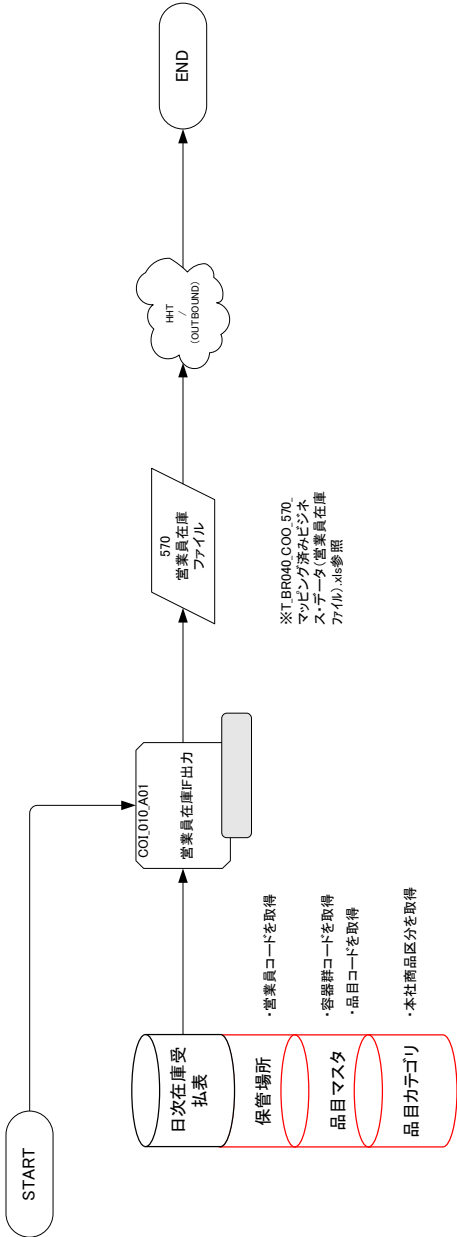


処理概要  
HHTへ連携する為、EBSの以下のオブジェクトをCSVファイルに出力する。  
①営業員在庫情報  
②気づき情報  
③VDコラムマスタ情報  
システム連携のみ  
システム利用者  
処理タイミング、その他  
運用時間終了後に1回/日実行する。

- システムプロセスフロー記入時の注意事項
- 機能単位（標準機能含む）で記入すること
  - INPUT、OUTPUTともにメインテーブルは必ず記入すること
  - I/F機能の場合、相手先システムを記入すること
  - 左上の枠内に処理概要、システム利用者、処理タイミング等を記入すること
  - 1ファイル、1システムプロセスフローとすること
  - フローが複数シートになる場合、(→① / ①→) のように番号でフローの繋がりを明確にすること
  - 1システムプロセスフローはSTARTで始まり、ENDで終わること



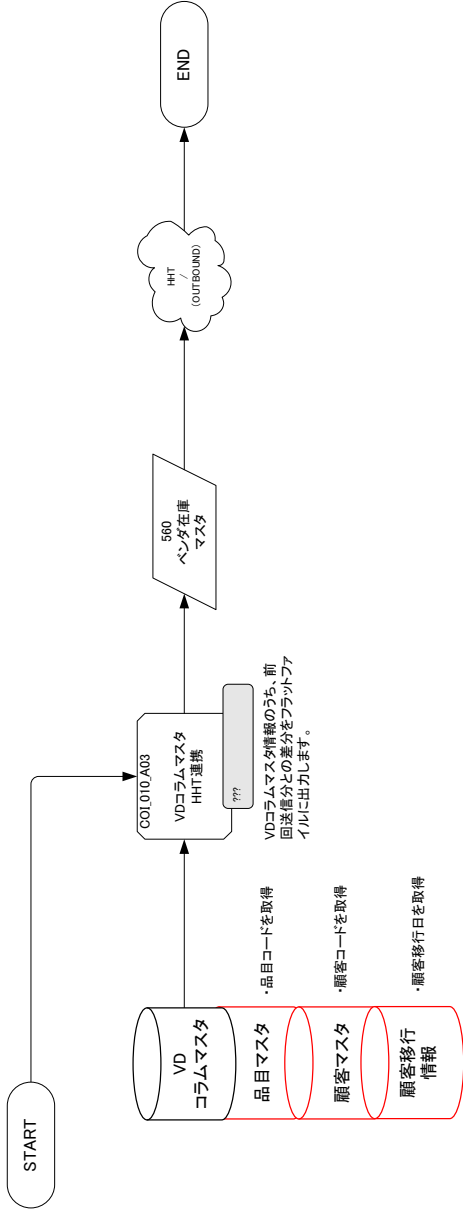
凡例:





処理概要  
HHTへ連携する為、EBSの以下のオブジェクトをCSVファイルに出力する。  
①営業員在庫情報  
②気つき情報  
③VDコラムマスタ情報  
システム利用者  
システム連携および拠点 内務担当者  
(コンカレントの同時実行は可能だが、HHTまで全て連携可能かは未定)  
処理タイミング、その他  
運用時間終了後に1回/日実行および手動により随時実行する。  
前回送信からの差分を出力する。

システムプロセスフロー記入時の注意事項  
・機能単位(標準機能含む)で記入すること  
・INPUT、OUTPUTともにメインテーブルは必ず記入すること  
・I/F機能の場合、相手先システムを記入すること  
・左上の枠内に処理概要、システム利用者、処理タイミング等を記入すること  
・1ファイル、1システムプロセスフローとすること  
・フローが複数シートになる場合、(→① / ①→) のように番号でフローの繋がりを明確にすること  
・1システムプロセスフローはSTARTで始まり、ENDで終わること



※T BR040 COO 540 マッピング  
済みビジネス・データ(ヘンダ在庫  
マスタ)Draft1A 080515.xls参照

凡例:

